

2019. 9月

No.48



みやき町

こんにちは

議会

です。

「子育て支援のまち宣言」

平成24年9月1日

「健幸長寿のまち宣言」

平成27年9月1日

令和元年度

みやき町中学生子ども議会特集



チームのために、バトンと気持ちをつないで！
北茂安小学校運動会(令和元年9月23日)

目次

| | |
|--------------------|-------|
| 9月定例会(補正予算・議案審議) … | 2～3 |
| 一般質問 … | 4～18 |
| みやき中学生子ども議会 … | 19～22 |
| コラム … | 23 |
| みやきトピックス … | 24 |

スマートフォンやタブレット端末でインターネット議会中継を視聴できます。

みやき町議会中継

検索



発行/佐賀県みやき町議会 〒 849-0101
佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀 1043
TEL 0942-94-5728 FAX 0942-94-5729
<http://www.town.miyaki.lg.jp>
編集/議会広報編集委員会

令和元年 第3回(9月)定例会報告

| | |
|-----|----------------------|
| 会 期 | 令和元年9月9日(月)～9月19日(木) |
| 議 案 | 町提出：30議案／議会提出：2件 |

令和元年度みやき町一般会計補正予算(第2号)【可決(全員賛成)】

3億3,523万7千円を追加し 総額 **144億4,889万5千円** に。

＜主な一般会計補正歳出予算＞

| | 項 目 | 補正額 | 説 明 |
|----|-----------|-----------|--------------------|
| 1 | 一般管理費 | 1億2,162万円 | ふるさと寄附金基金特別会計へ繰出金 |
| 2 | 道路橋りょう維持費 | 3,500万円 | 道路維持補修工事費 |
| 3 | 児童福祉総務費 | 3,336万円 | 子どものための教育・保育給付費負担金 |
| 4 | 障害者福祉費 | 2,152万円 | 負担金返還金 |
| 5 | 定住促進対策費 | 1,001万円 | 住宅用地取得造成事業特別会計へ繰出金 |
| 6 | 定住促進対策費 | 1,000万円 | 定住・移住奨励金 |
| 7 | 児童福祉総務費 | 913万円 | 子育てのための施設等利用給付費負担金 |
| 8 | 地域おこし協力費 | 253万円 | 水路改修工事経費 |
| 9 | 母子衛生費 | 159万円 | 母子保健情報連携システム改修委託料 |
| 10 | 財政管理費 | 33万円 | 財務会計システム改修委託料 |
| 11 | 税務総務費 | 33万円 | 行政訴訟弁護委託料 |

＜令和元年度 みやき町特別会計補正予算関係＞【全議案 可決】

| 内 容 | 補正額 | 補正後の総額 | 説 明 | |
|----------------|---------------|--------------|---------------------------|--------------------|
| 国民健康保険特別会計 | 8,634万5千円 | 41億1,430万2千円 | 前年度精算分、繰越分等 | 全員賛成 |
| 下水道事業特別会計 | 2,228万7千円 | 19億8,875万1千円 | 決算の確定に伴う繰越金を計上、一般会計繰入金を減額 | 全員賛成 |
| 工業用地取得造成事業特別会計 | 268万4千円 | 8,302万8千円 | 予備費増額 決算の確定に伴う繰越金を計上 | 全員賛成 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 841万4千円 | 4億1,477万円 | 広域連合納付金及び一般会計への精算返戻金等 | 全員賛成 |
| 住宅用地取得造成事業特別会計 | 1,001万7千円 | 1,839万7千円 | 宅地造成事業に伴う一般会計からの繰入等 | 賛成11 反対3 欠席1 |
| ふるさと寄附金基金特別会計 | ▲26億5,455万5千円 | 55億477万7千円 | 基金繰入及び一般繰入の調整等 | 全員賛成 |

＜主な議案【全議案 可決】＞

| | | | |
|---|--|---|---------------|
| 1 | 条例の改正 | みやき町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 賛成 14 反対 1 |
| | 幼児教育・保育無償化の基本理念の追加規定、利用者負担額・食事の提供に要する費用の負担及び連携施設の確保などに関するもの他、法改正による文言の整理 | | |
| 2 | 条例の改正 | みやき町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の一部を改正する条例 | 賛成 14 反対 1 |
| | 保育料の徴収について3歳未満の保育認定こどもに限り徴収することとし、3歳以上は徴収しないこととする、保育料の無償化に関する改正 | | |
| 3 | 条例の改正 | みやき町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例 | 全員賛成 |
| | 印鑑登録原票への旧氏の表記に伴う関連条文の改正及び条文内の文言の整理 | | |
| 4 | 条例の改正 | みやき町営住宅条例の一部を改正する条例 | 全員賛成 |
| | 入居者資格である同居親族要件の削除、裁量階層の入居所得制限の緩和及び改正に伴う条番号の整理 | | |
| 5 | 工事請負契約 | 公共下水道北茂安污水幹線築造工事 | 全員賛成 |
| | 指名競争入札：みやき町（株）野口機工建設 請負金額：6,597万8千円（含消費税） 工期：R1.9.18～R2.1.31 | | |
| 6 | 工事請負契約 | 公共下水道姫方地区污水管築造工事 | 全員賛成 |
| | 指名競争入札：鳥栖市（株）栗山建設 請負金額：5,780万5千円（含消費税） 工期：R1.9.18～R2.2.28 | | |
| 7 | 工事請負契約 | 公共下水道姫方地区污水管築造工事 | 全員賛成 |
| | 指名競争入札：鳥栖市（株）栗山建設 請負金額 5,494万5千円（含消費税） 工期：R1.9.18～R2.2.28 | | |
| 8 | 人権擁護委員の選任 | | 全員賛成 |
| | 酒井 隆司 氏 三根校区 | | |

意見書（可決分は国会等へ提出）【可決】

| | | |
|---|---------------------------|------|
| 1 | 地方財政の充実・強化を求める意見書 | 全員賛成 |
| 2 | 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書 | 全員賛成 |

一般質問 町政を問う

一般質問とは、定例会において議員が町の行財政全般について、町と政策討論するものです。

令和元年第3回定例会の一般質問は14人が行いました。

各議員のページに掲載しているQRコードから録画映像をご覧くださいませので是非ご利用ください。
(掲載は登壇順)

| 番号 | 議員 | 質問要旨 | 頁 |
|----|--------------|--|----|
| 1 | 8番 牟田 秀文 | 1. 本町の災害対策や豪雨災害対策について 2. 干拓川護岸工事について | 5 |
| 2 | 2番 目野さとみ | 1. みやき町官民連携協定について 2. 性的マイノリティー（LGBT）への支援について 3. 下水道工事の進捗について 4. 多胎支援について | 6 |
| 3 | 4番 田中 俊彦 | 1. MAGO（まご）ボタンの利活用促進について 2. 町施設駐車場の安全対策について | 7 |
| 4 | 15番 益田 清 | 1. 自然大災害への備え、豪雨等対策 2. 健幸長寿のまち宣言と新設メディカルコミュニティセンターの役割 3. みやき町シルバー人材センターについて 4. 町道東寒水西寒水線整備について | 8 |
| 5 | 9番 古賀 通 | 1. 地域おこし協力隊の活動と成果 2. 国民健康保険の運営と被保険者の意識 | 9 |
| 6 | 7番 大石 安弘 | 1. 大雨によるトイレの不具合について 2. 保育士募集に関して 3. 道路上の雑草管理について | 10 |
| 7 | 13番 古賀 秀實 | 1. みやき町の地域医療、福祉行政について 2. 成年後見制度 | 11 |
| 8 | 5番 本村 鶴夫 | 1. 大雨災害について 2. ふるさと寄附金利活用事業について 3. ふるさと寄附金について 4. みやき町のビジョンについて | 12 |
| 9 | 14番 岡 広明 | 1. 中原駅周辺整備について 2. 小動物の命を守るボランティア（活動）に対する支援策について | 13 |
| 10 | 11番 松信 彰文 | 1. 町より提案済みの北部風致地区の周辺整備、保育所用地選定について私案を基に伺う 2. 保育所待機児童問題の解消について伺う 3. 今夏の豪雨により通瀬川下宮付近右岸側堤体が数箇所損壊した。抜本対策は 4. ふるさと納税事業の6月以降の取り組み状況について伺う | 14 |
| 11 | 3番 岡 友清 | 1. みやき町内の大雨による冠水状況について 2. 高齢者の安全運転支援装置支援について | 15 |
| 12 | 12番 平野 達矢 | 1. 町内中学校歴史教科書選定のあり方を問う 2. 井堰の維持管理と改修のあり方を問う 3. 夜間の災害発生を想定した防災対応のあり方 | 16 |
| 13 | 6番 中尾 純子 | 1. みやき町町営住宅保証人制度の在り方 2. B&Gの改装工事について | 17 |
| 14 | 10番 宮原 宏典 | 1. 定住促進による学童・保育等の対策対応は 2. 土地開発と現状の防災対策で対応できるのか | 18 |

問 江口排水機場の再稼働は、通瀬川排

問 本年7月21日前夜からの大雨で、みやき町で1時間に約110ミリの猛烈な雨が降り浸水被害や通行止めが発生、8月28日にも、観測史上最大の大雨が降る記録的な豪雨となり、河川や水路が一気に増水し、通瀬川付近や江口付近の集落内の道路が冠水、幹線道路も一部道路で冠水が発生した。解決策として、通瀬川排水機場のポンプの増設および江口排水機場の復活を。



牟田 秀文 議員



問

江口区の通瀬川排水機場のポンプの増設および東分区の旧江口排水機場の復活を

答

町として通瀬川排水機場のポンプの増設等、東部土木事務所に要望している

水機場が江口排水機場の容量を受け持つことになっており、筑後川河川事務所としては再稼働は考えていないとの見解だと認識している。しかし、近年は毎年のように豪雨により内水氾濫が発生して、町としても排水機場のポンプの増設等、東部土木事務所に見望している。現在、東部土木事務所において、寒水川、通瀬川および開平江流域の内水解析を行い、現状のポンプ規模が妥当かの検証を行っている。通瀬川改修計画は、下流部の江



口地区において、現在、計画の河道断面を確保するため掘削工事等を実施しており、今後も上流に向け、順次河川改修を行っていく計画。

問 防災無線は、台風や豪雨を伴う天候の場合、屋外スピーカーは情報伝達には相当の制約が出る。本町の防災無線についての課題として、屋外スピーカーの指

向性の実態調査と再調整が必要では。また、高齢者や聴覚障害者をはじめとする災害弱者の方々に防災情報は、戸別受信機等も有効と考

問 干拓川に架かる市原出口橋から上流約190mの区間で、昨年の12月議会で、平成32年度までに護岸工事が完了の計画と聞いていたが、その後の進捗状況は。

干拓川の護岸工事の未整備は

答 防災行政無線はその時の気象状況や電波の状況によって聞き取りづらいことが発生しているのは認識しており、町としては、防災行政無線を補完する新たな手段の模索を行い、確実な情報の伝達に努める。災害弱者の方々の防災情報は、現在、福祉と検討しているMAGOボタンの導入を進め、それに付加機能をつけて情報発信をと考えている。

答 令和2年1月より左岸側から護岸工事に着手し、概ね3年程度での工事完了を予定している。今回の護岸整備に合わせ、水草の除去、土砂の撤去については東部土木事務所の方にお願いしていきたいと考えている。



目野さとみ 議員



問

下水道工事の完成予定日について伺う

答

令和7年度完成目標に努力する

問 完成予定日を伺う。

答 当時、計画目標年度を平成30年度として計画、全体計画の見直しを行い、令和7年度の計画目標と掲げ推進している。

問 7年も遅れた理由を伺う。

答 下水道事業は国の国庫補助金等が欠かせない財源となっており、東日本大震災や施設の老朽化などの対策に重点が置かれ、本町にとって補助予算の確保が

厳しい状況であった為。

問 現在工事中の完成予定日を伺う。

答 今年度末に工事が完了し来年5月頃には共用を開始できる。

問 次の工事予定区域と完成予定日を伺う。

答 中原処理区で原古賀北地区の中原小学校付近から綾部地区方面への本管工事とその沿線と枝線工事、国道34号以北でJR長崎線までの姫

方地区の一部を予定。

北茂安処理区で北茂安中学校入り口付近から北上し白石・血山地区方面への本管とその沿線の枝線工事、白壁地区・石貝地区・石貝団地の面工事の予定で両処理区とも3年程度の工事期間を要する。現在、未だ未認可区域となっているJR長崎線以北の姫方地区・箕原地区の一部並びに中原地区・石井地区の一部、白石・血山地区と東尾地区の一部についても早期施工の要望を多数いただいております。

業の早期進捗に努力する。

多胎支援について

問 ふたご・みつごの出生状況を伺う。

答 過去5年間平成27年に3組、平成30

年に4組（いずれもふたごの届出）

問 今後どのような多胎支援をするか伺う。

答 母親の気持ちに寄り添いながら妊娠、出産、育児期において、時期に応じた切れ目のない支援に努めていく。また、子育て支援（預かり事業、相談事業）については、ホームページ

ジ等により情報発信し、効果的な周知・啓発を行い、育児負担軽減のためのサポート・支援を活用していただく。

性的マイノリティーへの支援について

問 パートナーシップ宣誓制度の導入を伺う。

答 先進自治体の事例を参考に、近隣市町の状況なども見ながら、今後研究させていきたい。



問 みやき町でも異常気象に起因するといわれる想定外の災害が発生している。8月27日未明からの激しい雨音で目が覚めたが、夜はまだ明けそうになく不安は募るばかりだったと多くの声が聞かれた。現在、避難情報など防災情報無線により伝達されているが、多くの町民の方から暴風や大雨の時は雨戸を閉めるなどにより聴こえづらいとの声。そこで次の点について質問する。

①土砂災害警戒区域を有する地域などへ、避難情報の伝達



問 避難情報などの伝達にMAGOO(まご)ボタンの活用を再度提案する

答 改良され緊急情報発信放送も可能となったMAGOO(まご)ボタンの導入に向けた準備を進めていく

にMAGOO(まご)ボタンの活用を再度提案する。

答 ①行政防災無線や有線放送では、その時の気象状況等により屋内に届きにくいときがある。

4月からモニターを募集し、MAGOO(まご)ボタン活用を試行してきた。

機器の改良により



早期の設置が待たれるMAGOOボタン

新たな緊急情報放送の発信も可能となり、改良された2号機の導入に向けた準備を地域包括支援センターと進めていく。

町施設駐車場の安全対策について

問 中原体育館駐車場は、体育館・武道館・風の館・青少年ホーム・とっこい子育て広場など、多数の施設利用者の車が入り、駐車している。しかし、出入り口付近が駐車車両により狭くなっており、事故につながる光景が見受けられる。

また、駐車場内でのかなりのスピードを出しているドライバーも散見される。そこで次の2点提案する。

①出入り口付近の駐車スペース数を減らし間口を広くする。

②駐車場内のスピードを抑えるため数カ所に凸凹を設置する。

答 ①平成28年度に徐行運転を啓発する目的で2カ所に徐行の路面表示を、また保健センター出入り口に横断歩道の路面表示、さらに入

また、駐車場内でのかなりのスピードを出しているドライバーも散見される。そこで次の2点提案する。

①出入り口付近の駐車スペース数を減らし間口を広くする。

②駐車場内のスピードを抑えるため数カ所に凸凹を設置する。

問 風の子保育園は、日々約240名の園児が集う。



安全対策が望まれる中原体育館駐車場

①付近には敷地内徐行の看板を設置している。今後、利用状況を確認しながら間口のスペース確保に努めていく。

②駐車場にスピードを抑える凸凹設置については、車両、歩行者双方に適した設置場所、設置範囲など研究し、設置に向けた準備を進めていく。

答 ①駐車場内での車の動き、どの入り口から入り、どこに駐車し、どこから出るかなどの調査を行う。

そして、全体的に一番スムーズな流れで事故回避につながるルールを検討し実施につなげていく。

駐車場は時間帯によつては送迎の車で混雑している。

また、2カ所の出入り口からの車は右折、左折、直進などさまざま、この間に子どもを降ろすなどいつ事故が起きても不思議でない光景を目にする。

そこで次の点について提案する。

①駐車場内の車の動線を一方方向、すなわち一方通行とする。



益田 清 議員



問

「災害時ひなん場所」、日頃からの周知を大災害時に開設されないのは問題

答

避難場所に設置している看板、改修等全体的に見直したい

問 想定外の自然災害が日常的に起こりうる状況だ。強調されるのは被害を受けた浸水地帯と作成された洪水ハザードマップがほぼ一致していることだ。

迅速に行動するには、自主防災組織と情報を即座に提供できる手立てなど地域防災計画づくりが求められる。その基本は避難場所の確保と周知だ。

避難場所（看板設置場所）は大災害時には必ず開設すべきだ。看板は防災センサーに設置されず全体的に古く、存在意義があいまい。放送

は避難場所を3カ所のみ、北茂交小は床下浸水など避難できないとの声がある。

他自治体では河川・道路の危険状況をリアルタイムでスマホ等で確認できるようにしている。本町もシステムの確立を。

答 看板の改修・設置・撤去などは見直したい。現在町内16カ所（福祉施設4カ所）の看板の調査を行う。避難所の開設については、その時の状況により16カ所の中から選定し開設している。地区防災計画は地域の住民が自発的に地域に適し



災害時ひなん場所看板

た計画を策定されるもの。今のところ相談はない。あれば支援していきたい。河川の状況は筑後川河川事務所や県のデータの把握を行っている。町ホームページやあんあんメールで情報を発信している。

町費の持ち出しはメリットの具体策は

問 町立メディカルコミュニティセンター建設が7月に着工した。（2021年

4月の開業（着工今年7月・総工費23億8千万円）。医療法人（天神会）と町との公民連携で予防・健康づくりの拠点センターとされる。

単なる病院や事業所なら「なぜ町のお金で建設なのか」当然疑問がでる。町民にとつてどのようなサービス恩恵が受けられていくことになるか、具体策を伺う。

19の入所事業所が決まりテナント料は減免するとしている。建設費の返済、運営・維持管理など町費を相当つぎ込みかねない、試算を明らかにすべきだ。

答

健康の維持向上、未病（健康前の治療）の方は早期補正と改善、心身機能の早期回復、統合医療の理念に基づいて具体的な取り組みを検討している。23億8千万円の財源は単独事業債13億円・合併特例債5億円・ふるさと納税約6億円。企業支援。運営収支見込みは、実施設計段階で提示、議論して頂くことを考えている。



※メディカルコミュニティみやき構想図（B&G海洋センター周辺）

複合施設、診療所、整体院・トレーニングジム・薬局+小売店・整骨医院・針灸院・食品サプリメント販売店舗など19店舗が入る。2021年開設

シルバー人材センターの充実を

問 シルバー人材センターは草刈り・大作業、雨戸修理など弱者にとつては助け人となっている。現在、会員の減少で要望に答えられない状況。広報での呼び掛けなど充実を図るべきだ。

答 会員減少でニーズに対応できていない。来年度からMAGOPボタンを活用した御用聞き事業に統合できないか検討している。



古賀 通 議員



問

地域おこし協力隊は町の良さを再発見し、各業種の支援とはどのような活動か

答

ネット通販・農業などの分野で11人が活躍されている

力削減の普及を目指している。

景観計画策定の隊員は田舎の自然と神

社など伝統文化との融合＝歴史伝統と、

のどかな風景の保存を目的として活動し

ている。

他に空き家再活用や佐賀錦の創作活動を行う隊員が、ワークショップを実施し、町民との交流を図っている。また、ネット通販事業支援を行う隊員が企画した「みやきマルシェ」を開催。地元の菓子店や園芸、手づくり装飾品、美容体験コーナーなど多彩な出品で若い方々も多数来場され大盛況だった。

問 地方の歴史的遺産や景観、文化継承など都会にない生活の営みを通じて各種ニーズに支援したり新たな着想に基づく試みのため、県内に28名が着任されている。町内での活動の実態や要望などはどうなのか。

答 地域おこし協力隊は都市から地方に居住を移し協力活動しながら定住を図る制度。スマート農業推進の隊員はドローンで圃場を空撮しその映像をAIで解析してピンポイントで農薬散布の経費と労



「みやきマルシェ」風景

活動と報酬は月100時間、月額16万6千円、住宅費は他自治体同様町が負担し、財源は国から特

別交付税措置される。3年間の活動を終える際には成果を検証し報告会を実施したい。

国民健康保険の運営と被保険者の意識

問 健康保険制度は医療と福祉において国民の生活に密着した重要なものである。今回は、調剤薬局における院内処方と院外処方の違いおよびジェネリック(後発)医薬品の活用と調剤料について伺う。

しており、現在は医薬分業率が全国で約7割程度にまで普及しているようだ。また「薬手帳」を持参すると、持参しなかった時に比べ医療費が安くなるケースがあるといわれている。

後発医薬品は先発医薬品よりも3〜5割程度安くなる場合が多く、本町内における後発医薬品への置換率は79.4%。今後さらさら後発医薬品の使用促進に取り組んでいく。

答 院内処方と院外処方

のどちらにもメリットがあるかは一概には言えないが、厚労省は医薬分業を推進し





大石 安弘 議員



問

大雨による公共下水トイレの不具合対策について

答

豪雨による下水逆流時の対応について周知徹底していく

問 7・8月の豪雨により、低地にある地区では、道路冠水による被害があちこちで発生したと聞いている。また、その影響で、公共下水の逆流によりトイレが使えず、不自由な生活を余儀なくされたとの住民の声を聞いた。

公共下水では雨水は分離されているはずだが、なぜ使えなくなったのか。

答 本町の下水道管は、トイレ排水、家庭雑排水、事業雑排水などの汚水のみを対象としている。

今回の記録的豪雨による想定以上の雨量は、雨水がマンホール等から汚水管に流れ込み、終末処理場や中継マンホールポンプの処理が間に合わず、下水道管内が満水となり、流れが悪く、逆流の原因となり、トイレが使用不能となった。

問 今回の豪雨でトイレを使えなかった地区や住民へ、的確な情報提供や対策をとられたのか。

答 公共ますのふたを開けて汚水管内の空気を抜き、管内の

圧力を下げる。大きなビニール袋に水を入れ水のうを作り、排水口部分にふたをして逆流を防止することを今回の被害地区に回覧にて知らせている。今回のようにトイレが使用できない場合は、避難所を含めた公共施設などを利用していただきたい。

が求められている。一方では、保育士不足により確保が難しいようだが、その現状について伺う。

答 50名の利用者定員増の整備をしていただいた「さくらの杜保育園」において、5名の保育士が不足。対策として、新規就労者等への助成金、町在住者の潜在保育士へのアプローチや就職相談会を開催し、保育士確保に努めている。

問 町は人口の増加に伴い、予想以上に保育希望者が生じたことで、待機児童が発生、早急に解消策

保育士の募集状況について

問 介護現場においても、同様に人材確保が難しいよう

実習生の囲い込みや、在職者の紹介が、高効率に繋がっている。また、県内の市町でシニア層の活用が功を奏している実例もある。ぜひ検討を。

道に付帯する歩道の縁石周辺の雑草の管理が行き届かず、伸び放題で町の美観を損なっている。管理はどこのか、どのように行っているか。

答 再就職支援として、就職準備一時金、保育士を目指す学生への奨学金による支援等、指摘された件についても、調査検討を進めていく。

答 国の管理は国道34号。県の管理は、国道264号および県道全般。町道全般は町が管理。国道34号は年1回、国道264号および県道は年2回、町道は随時。国・県道も情報提供があれば随時対応する。

道路上の雑草管理について

問 国道・県道・町



県道神埼北茂安線



古賀 秀貴 議員



問

地域医療、福祉行政について

答

地域包括ケアシステムをより効果的に深化させる

問 地域包括ケアシステム強化のため介護保険法の一部改正では、①自立支援

②医療、介護連携の推進
③地域共生社会の実現に向けた取り組み等が求められている。超高齢化社会に向けた課題について。

たさまざまなサービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムを深く深化することが課題である。

問 自助・互助・共助・公助の役割分担を明確にし、自助を基本としながら支える側、支えられる側の一律的な関係ではない。「支えあい」イコール「地域包括ケア」を活かした取り組みが重要である。高齢者への健康寿命延伸への取り組みについて伺う。

進、介護予防に向けた事業として、介護予防ふれあいサロン、いきいき百歳体操等を取り入れている。住民主体の通いの場の充実、フレイル対策、健康増進課が実施する健康づくり等を推進していく。

答 高齢者の健康増

答 団塊の世代が75歳以上の後期高齢者を迎える2025年に向けて、介護・支援を必要とする高齢者の方に、介護・介護予防、医療、生活支援、住宅等を含め

問 みやき町地域福祉計画等を踏まえた内容で、高齢者の保健福祉に係る総合的な計画が策定されているが、運転免許証を返納した高齢者の暮らしを支える施策について、町および周辺自治体との交通計画を伺う。

答 70歳以上で運転免許証を自主返納された方は、みやき町のコミュニティバスの運賃を3年間無料で利用できるように支援している。みやき町、鳥栖市、上峰町のコミュニティバスは住民だけでなく誰でも利用できる。今後新たな交通ルートを探し、有効な交通手段を実施できるように調査研究を行う。

問 市町村においては、後見人の育成とともに、それを活用

成年後見制度

答 広報・啓発については、広報紙やみやき町のホームページに掲載している。相談については、主任ケアマネージャーと保健師、社会福祉士の3職種の職員で受け付けている。

問 みやき町成年後見制度助成金交付要綱が定められている。この要綱は後見人に対する報酬を支払うことが困難な方に対して、報酬を助成する制度である。報酬の支払い方法、限度額について、また、在宅と施設入所

答 広報・啓発については、広報紙やみやき町のホームページに掲載している。相談については、主任ケアマネージャーと保健師、社会福祉士の3職種の職員で受け付けている。

するため、必要な措置をとることが努力義務になっている。成年後見制度に関する広報・啓発・相談の現状について伺う。

答 助成の対象者は、生活保護者、助成を受けなければ制度の利用が困難な方が対象である。在宅の場合月2万8千円、施設入所者月1万8千円を限度に助成。

問 町民後見人養成活動支援、町民後見人バンクの設置についての認識は。

答 社会貢献に意欲と熱意ある多くの町民の参加に期待する。判断能力が不十分になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、町民の方が後見人の担い手として支援できることを期待したい。



本村 鶴夫 議員



問

大雨の被害と対策について

答

道路法面崩落が13カ所など。冠水する場所は把握しているので安全対策を行っている

道路および水路で道路法面崩落等が13カ所、水路の護岸崩落や土砂堆積等が5カ所、準用河川上通瀬川護岸の崩落が1カ所発生している。

問 7月20日、21日の大雨や秋雨前線の停滞により町内は災害に見舞われ、冠水、土砂災害、決壊が発生している。被害の状況の報告をお願いする。

冠水というのは日頃から排水が悪いから発生するので、その対策はどのように行っているのか。
また、豆津橋下流の豆津地区で筑後川の法面崩落があったが、筑後川河川事務所に早期復旧や堤防の調査などの要望を行ったのか伺う。

答 建設課が管理す

実施について要望活動を行っている。

ふるさと寄附金活用事業について

問 ふるさと寄附金

活用事業により建設課が所管する道路水路整備で700万円、秘書公室が所管する地区安全安心特別交付金で300万円、合わせて1000万円を上限に地区に交付している。
ばらまき予算との話もあるが、今後継続するのか、町の考えを伺う。

答 地区安全安心特

別交付金については大木除去などを実施しており、道路水路整備事業では道路、水路の整備を実施している。

問 ふるさと寄附金

活用特別交付金については関係課と十分に協議し方向性を検討する。

ふるさと寄附金について

問 ふるさと寄附金

については総務省からの通知により来年10月まで受付できない状況となっているが、その一方で、みやき仮想商店街構想を

官民一体となって推進するとしている。
ふるさと寄附金の指定から除外されている間は仮想商店街構想活動を休止したかどうかと思うが。

答 仮想商店街はイ

ンターネットによる通販サイトを官民一体となって取り組み、各事業者が商品を掲載して仮想上の商店街を作るといった新たな試みである。

通販サイトを活用し町の産品を全国に発信し、販路拡大に取り組んでいきたい。

みやき町ビジョンについて

問 みやき町ビジョ

ンについて、町の人口減少が危惧され葛館など定住促進住宅

の整備などにより22年ぶりに人口増に転じたと聞くが、その費用対効果に疑問を感じている。
将来のみやき町構想計画について問う。

答 ある程度の財政

支出を伴ったとしても人口の維持、増加の努力は地方自治体としての責務だと判断しており、今後も継続的に実施していく。





岡 広明 議員



問

中原駅バリアフリー化・駅舎改修・周辺を含めた全体構想の立ち上げを

答

調査研究を行い、議会と議論できる環境づくりを整えたい

問 鉄道開通に伴い駅舎ができたおかげで国、県の医療、福祉、教育等の施設が進出し、旧中原町の人口は一時急激に増加した時期がある。

しかし駅舎を含め周辺の整備がまだ遅れている。

特に中原駅バリアフリー化（エレベーター・ホームに屋根の設置）、橋上改札口にし北側への自由通路の新設等を急ぐべきだが。

答 バリアフリー法の基本方針は1日平均乗降者数3千人以上が目安である。未

満の駅についても地域の実情を踏まえて可能な限りバリアフリー化を実施することも支援を行う改正もあっている。

まちづくりという観点からも、住民の方々の関心が高いことは理解している。

駅周辺の開発を含め一体的な議論をした上で構想を固めていくことになろうと



老朽化し危険性のある跨線橋

考えている。

問 どのような駅の構想を考えているのか、計り知れないが将来住民サービス、利便性を考え駅舎に

住民窓口課や金融機関のATMの設置計画も設け、住民窓口課については、みよき町は選挙の投票率が悪いので期日前投票ができるシステム作りを検討すべきだが。

答 判断に慎重を期している。どのようなサービスが一番適しているのか

を含め調査研究を行う。

投票率の向上対策は講じているが、住民基本台帳との連結に問題がある。

問 小学校の通学路、駅西踏切内の町道拡幅、南北、西側の町道整備状況、延長計画はどうなっているのか、まずは町道二本谷国道線の新設改良を急ぐべきだが。

答 踏切内の幅員は3メートル程で車の離合ができなく、通学路であり非常に危険で改良の必要性は

認識している。踏切から100メートル程度整備されていないが地区住民の合意形成、要望書の提出があれば整備優先順位を決定していきたい。

小動物の命を守るボランティアに対する支援策を

問 今日ペットとして愛護され、家族の一員とし飼育される家庭が多くなっている。犬は鎖等でつないで散歩されるが猫は自宅より自由に出入りするため放し飼いになり繁殖し野良猫が増大している。

そのため飼い主がいない猫の命を守るボランティア(活動)をされる方は自費、私財を投じて「捨て猫育てハウス」を作り飼養し餌代、病院代、火葬代などかなりの経費が掛かる。活動に対する支援策の制定化をせよ。

答 本年4月より、みやき町飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金交付要綱を制定した。飼育に掛かる費用は飼養者の責任と規定がある。



捨て猫育てハウス



松信 彰文 議員



経過報告

8月末に町より2事業計画の説明があった。

①綾部地区での宅地開発計画

②市原地区での保育施設建設用地の選定計画だ。

町計画と質疑応答は以下の通り。



問

綾部地区の宅地開発は中止すべきだ

答

耕作放棄地対策として計画した

| | ㎡ | 町 | 松信 |
|---|----------------|--------------|----------------|
| ① | 1,465 田・畑・宅 | 関係者 駐車場 | 〃 |
| ② | 1,571 田 | 駐車場 宅地 | 田 |
| ③ | 2,403 田 | 宅地 (8~9戸) | 駐車場 (公共トイレ) |

問 ②は綾部神社東側の風致地域の美田だ。現状のまま残し、

お田植え祭りや収穫祭などの春秋の農業催事を実施し、町地区の活性化に利用すべきだ。
③は町有地として公共トイレを含む駐車場とすべきだ。

答 ①②は駐車場および宅地用地とし③は宅地開発計画とした。

| | 平成31年 4月1日 | 令和元年 9月1日 |
|---------|---------------|--------------|
| 待機児童 | 16人 (県24人) | 27人 |
| 潜在的待機児童 | 79人 | 76人 |
| 計 | 95人 | 103人 |

※潜在的待機児童
・特定の施設のみを希望
・求職中など

直近の状況

保育所待機児童

| | ㎡ | 町 | 松信 |
|---|-------------|---|----|
| ① | 5,198 田 | ○ | △ |
| ② | 10,530 田 | △ | ○ |

※旧市原グラウンド面積5,017㎡。②での新保育所と新グラウンドの整備は十分可能だ。

問 ①は道路・排水路の状況から保育所としては不向きだ。

答 今一度、あらゆる見地から検討したい。

問 町民への「機会均等」の保証は町政の大原則だ。全国には多くの先進地がある。
○佐賀県江北町
退職保育士の再雇用(週3~4日勤務)
○愛知県東浦町
自宅保育の実施と手当の支給等
(1万円/月・20名)

答 今後の対策として来年4月1日から三根校区・正安寺学園に認定こども園(整備定員85名)を開設予定。
この他、早急な対応が可能な候補地の選定を行う。

問 事態が悪化している。さらに本年10月からの無償化で一層の児童増が予想される。
事態は深刻だ。



損壊した下宮付近堤防

問 過去2回の質問で県河川である通瀬川の経年劣化問題と対応・対策について議論してきた。
しかし、遂に、今夏の豪雨で5カ所の堤防損壊が発生した。県・町合同の現地視察と対策会議の早期開催が必要だ。

答 児童受け入れ枠の拡大や選択肢増を通じ、問題解決に全力を挙げる。

通瀬川堤防損壊



岡 友清 議員



問

江口排水機場（東分）の存続について

答

現在の通瀬川排水機場のポンプ増設等を
県に要望していきたい

問 今回の大雨により被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

今回の大雨によりみやき町においても避難指示・避難勧告が出され、大変な状況になった。

今回は時間雨量100ミリと今まで経験したことのないような豪雨に見舞われた。想定外の大雨と言いつつできない事態になっている。このような中、今回の大雨でみやき町における冠水箇所と江口排水機場（東分）の存続についてお尋ねする。

答 7月および8月の大雨によって、ほぼ全区において集落内の一部の道路で冠水が発生した。通行止めの規制を行った。

北茂安郵便局前の北（150m）、こすもす館南交差点から東へと南への区間、通瀬橋から小原橋付近までの区間等を通行不能とし規制を行った。

江口排水機場の廃止に伴う現状については、排水規模毎秒12立方メートルとなっている。昭和33年に完成し、完成から60年以上が経過して



いる。

管理は国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所である。寒水川放水路か

ら下流の通瀬川の水はサイホンにより通瀬川排水機場で排水するようにしており、三根校区の寒水

川は開平江と合流

し、寒水川排水機場で排水することになっている。納江・水門にある幹線水路から開平江の排水状況については、土地改良区に聞いたところ、気象状況に十分注意し洪水が予想される場合は事前に落水し調整を行っている。今後は内水解析を十分行い、現在のポンプ規模が妥当かの検討を行ってきたい。

高齢者の安全運転 支援装置の助成に ついて

問 最近、高齢者の方の運転による事故が急増しており、マスコミ等でも大きく取り上げられている。公共交通機関の

恩恵に頼れない地域に住んでおられる皆さんにとっては、日々の買い物、通院等免許を返納すると、非常に不便を来すことになる。高齢化社会を迎え、高齢者運転の安全装置の助成についてお聞きする。

答 現在、東京都をはじめとし、九州では福岡県苅田町、うきは市、熊本県玉名市、大分県日出町、宮崎県新富町で取り組んでいる。ブレーキとアクセルの踏み間違いが発生しないよう町としても国・県・また他の市町の事例を十分に把握した上で、装置の普及に向けて必要かつ効果的な施策を検討していきたい。



平野 達矢 議員



問

中学校歴史教科書選定のあり方を問う

答

子供達に適した教科書採択を行っている

問 「日本の国を守る」、領土、領空、領海、私達は今の平和で安全な日本を子供や孫達に渡していく義務がある。しかし今、外交的に日本の国がどのような状況にあるのか。私達が現況をしつかりと把握して近隣の諸外国と史実に忠実な歴史認識でもって対応していかねばならない。外交は歴史が続く限り続いていくものであり、そのためにも歴史認識は子供達に正確かつ確実に教育する必要がある。そこでみやき町の中学校の歴史教科

書が最適であるか否か。その選定においてどのような作業でもって選定されているものか。組織、メンバー、選定過程、決定方法、上部組織からの強制はないか、採択の公平性、透明性は保たれているか何う。

答 採択権限は学校を設置する市町村、都道府県教育委員会にある。採択については教科書の調査、研究に係る人員の確保、公平性確保のため複数の市町村で取り組む。その区域は県教育委員会が市町

村の区域を合わせた地域を「採択地区」として設定し、その区域の教育委員会が共同で採択する。みやき町は鳥栖市、三養基郡、神崎市、神埼郡の市町で採択、地区協議会を設置している。協議会の委員は区内教育長6名、教育委員6名、保護者3名で、協議会に選定委員会を置き、委員は地区内小・中校長、副校長、教頭12名以内、教育委員会指導主事6名、学識経験者1名、保護者等3名となっている。合わせて専門的事項の調査、研究

のため研究委員も委嘱している。研究部会は報告書を作成し、選定委員会に提出する。選定委員会は採択協議会の諮問に応じ、研究部会からの報告書をもとに調査、審議して答申する。なお上部団体からの強制等は一切あっておらず、公平性、透明性は保たれている。

井堰の維持管理と改修のあり方

問 本町農業にとつて、水は欠かせない資源である。限りある水を有効利用する

ことはすべての産業にとって大事である。先人達は水の有効利用に工夫を重ね今も遺産として永々と使い継がれている。農地に取水する井堰もその一つであるが、古い井堰で機能の低下が見られる。今後、異常気象で気温の上昇、保水低下が進む中、水の有効利用はますます必要と考える。そこで町内にどれだけの井堰があり、改修の必要箇所、今後の維持管理についてどのような計画をされているか何う。

つたものであり、その維持管理は受益者の管理であると認識している。県が河川改修される箇所の井堰については原形補償という形で県が対応している。町内39カ所の井堰の災害時対応としては、農地・農業用施設災害復旧事業があり対象認定されると補助事業で復旧する。井堰については受益者管理と認識するので地元農家の方々より相談分については各種補助事業を活用しながら改修の協力を努めて行きたい。

答 井堰の数は中原校区21カ所、北茂安校区18カ所の計39カ所である。井堰については農業用水の取水目的で先人達が作

※その他、夜間の災害発生を想定した防災対応のあり方について質問した。

答 連帯保証人の確保が入居条件になっている。家賃保証だけでなく、緊急時の連絡先としての役割を果たしてもらおうこと。また、連帯保証

問 町営住宅に入居する場合、保証人制度がある。この制度では連帯保証人が2人必要とされている。誰に頼んでも簡単に承諾してもらえないと困っておられる。生活に困って、なおかつ町営住宅に入居できない状況になる。なぜ連帯保証人が2人必要なのか。



町営石貝団地

| 町名 | 連帯保証人 |
|------|------------------|
| みやき | 2人 |
| 上峰 | 2人 |
| 碁山 | 1人 (30年8/1から) |
| 吉野ヶ里 | 2人 |
| 大町 | 1人 |
| 江北 | 1人 |
| 白石 | 1人 |
| 有田 | 2人 |
| 太良 | 1人 |
| 玄海 | 1人 (緊急連絡員として) |

※鳥栖市では更新は無い。

問 通常、保証人と聞くだけで、誰でも敬遠する。まして連帯保証人と聞けばなおさらだ。連帯というしびりをなくすことも考えるべきだ。保証人をゼロにする

答 単身高齢者が増加することも見込まれるので、民法改正に合わせ、佐賀県他市町の動向を見ながら、特別な事情のある方など連帯保証人の免除ができないか等も含めて、住宅困窮者の公営住宅の入居に支障が生じな

問 入居したら、3年に1回の契約更新があるが、連帯保証人の2人の方が気持ちよく承諾してもらえれば問題ないが1



B&G温水プール

問 B & G プールは

**B & G プールの改
装工事について**

答 3年に1回の賃貸借契約更新時には入居者に家賃や駐車場使用料の滞納がない場合に限り、連帯保証人を2人ではなく1人でも可能であると規則の改正で対応してきている。

答 見学者を含め、快適にB & G プールを利用できるように現状の把握を的確に行い、工夫を考えながら、環境整備について取り組んでいく。

現在、南側が玄関であるが、メディアカルコミュニケーションセンターの新築にあわせて入口が東西になると聞いている。その時に改修工事されると考えている。プールの観覧だけでなく別部屋からの観覧室を設けてほしい。



中尾 純子 議員



答

県の動向、他市町の状況を視野に入れながら検討を重ねていく

問

町営住宅の保証人制度での「連帯」このしびりを無くすことはできないのか

ことは可能なのか。

いように今後、地域の実情などをいろいろと考え合わせ、適切に対応できればと考えているところだ。

人の方が亡くなった、拒絶されたりした場合新たに探さなければいけない。更新をなくすべきだ。



宮原 宏典 議員



問

定住促進による保育園・学童等は大丈夫か。隠れ待機児童を含め100人の対策対応は

答

市原地区・上峰町境に保育園建設、学童等は増設・空教室等の協議を進める。

議を進める。

問 定住促進による令和元年度住宅建設は何棟建設予定か。昨年小規模保育園が建設されたが、待機児童数（隠れ待機児童）を含め何人なのか。保育園・学童保育は対策対応できているのか。

問 昨今、豪雨災害が発生している市原地区の予定地は、浸水の恐れがある。地区と協議を重ねる安全心の建設を。

10月から保育料無償化が進み待機児童数が増す。これでは子育て宣言の町とは言えない。一日でも早い建設を望む。

答 民間による住宅建設は約100区画整備されることを把握している。待機児童数100名程度、対策として保育園建設を、市原地区・上峰町境で候補地選定を進める。学童保育は増設・空教室等の活用を行うのか協

答 市原地区の予定地は地区と協議を重ね待機児童対策に対応したい。上峰町境の候補地は、宅地の選定により早急な対応を進める。



市原地区の候補地

災害は現状防災対策で安全か

問 温暖化のため豪雨は常習化し、線状

雲が町に足していたら大変な災害発生を来したところだ。

開発事業により、前川・通瀬川下流の

江口地区の浸水越水対策は河川の浚渫、水草除去では解決には至らない。町上げて河川改修を要請すべきではないか。通瀬川排水機強化は急を要する問題だ。浸水による人命救助ボートは何艇常備なのか。

答 前川・通瀬川の越水対策は草の繁茂・

土砂堆積の除去で対応、河川改修計画は検討中である。通瀬川排水機強化については、町としても要望しており、現状のポンプ規模が妥当か検証されている。人命救助ボートは一艇保有しており、消防関係からも追加要請を受けており、対処したい。



冠水のため使用できないサイホン調整



江口地区の浸水

令和元年度 みやき町中学生子ども議会



9月30日(月)みやき町議会議事堂(中原庁舎)において、今年度で7回目となる令和元年度「みやき町中学生子ども議会」が開催されました。

みやき町内の3中学校から、2年生の代表者計12人が「一日みやき町中学生子ども議会議員」に任命され、生徒議員からは鋭い質問や提言がなされ、白熱した議会となりました。

子ども議会を終えて、中学生子ども議員の皆さんの感想を紹介します。

議員名簿及び質問事項

【議長】

| | | | | | |
|-------------------------|-------|--------------------------|-------|-------------------------|-------|
| 中原中学校 10 園田 晋一郎 (菘原) | (地区名) | 北茂安中学校 11 江越 日菜多 (中野) | (地区名) | 三根中学校 12 倉本 祐希 (土井内) | (地区名) |
|-------------------------|-------|--------------------------|-------|-------------------------|-------|

【議員】

| 議席番号 | 氏名 | 学校名 | (地区名) | 質問事項 |
|------|-------|--------|--------|-------------------------|
| 1 | 大塚 海優 | 中原中学校 | (原古賀) | 通学路の危険について |
| 2 | 中山 碧 | 〃 | (西寒水) | ブロック塀の安全について |
| 3 | 村山 藍 | 〃 | (北浦団地) | 高齢者が住みやすく過ごしやすい町づくりについて |
| 4 | 梅田 智太 | 北茂安中学校 | (白石) | 災害での被害を最小限にするための対策について |
| 5 | 三宮 和依 | 〃 | (石貝団地) | 環境資源を活用したPRについて |
| 6 | 鷺崎 優成 | 〃 | (座主野) | 令和5年国民スポーツ大会にむけて |
| 7 | 田中 蘭 | 三根中学校 | (新村) | みやき町の特産物のPRについて |
| 8 | 毎熊 仁 | 〃 | (新町) | 三根校区の公園の環境整備について |
| 9 | 足立 大和 | 〃 | (坂口) | 高齢者のバス利用促進について |



中原中学校

議長

園田 晋一郎



僕は子ども議会で

議長を務めました。そして議長を務めるなかでリーダーとはどんな存在なのか考えることができました。僕が思うリーダーというのは決断力、判断力に優れている人だと思えます。議長というのは話し合いのリーダーであり、議員さんをまとめないといけません。まとめるときにどんな言葉を言うのか、タイムリングはいつなのかというのをしっかりと頭に入れていない

と、皆をまとめることはできないと感じました。これから僕たちは学校を引っ張っていくリーダーの立場になります。子ども議会で学んだことを生かして、今後の学校生活を有意義なものにしたいと思っています。

議員

大塚 海 優



私は自分の意見や考えを人に伝えるのが苦手です。でも、そんな自分を変えたくて、今回の子ども議会に立候補しました。本番当日、私はとても緊張していて、再質問しようと思っ

ていましたが、できませんでした。それでも、人に意見を伝えるのが苦手な私が

町長さんやみやき町議会の方の前で発言できただけでも成長できたと思います。また、トップバッターで何をどうしたらいいか分からなかったけど、運営の方に優しく教えていただき、「頑張り」と声をかけていただいたおかげで安心して発表することができました。みやき町が現在行っている政策などが知れてよかったです。

私は子ども議会に参加できて、自分を変えるチャンスを得た。少しくらい変わった自分があるので、今回の経験で得たことを生活の中で生かして、みやき町がよ

りよい町になるように考え続けていきたいです。

議員

中山 碧



子ども議会に参加して、大勢の人の前で発表することの楽しさを学びました。私は人前で話すのはあまり得意ではなく恥ずかしいと思っていました。しかし、そんな自分を変えたいと思ひ、参加しました。リハーサルでも本番でもスラスラと読むことはできませんでしたが、本番は楽しむ気持ちを忘れず臨むことができました。また、大き

な声で堂々と発表することができたと思います。私の「ブロック塀の安全について」の質問に対して、執行部の方は分かりやすく丁寧に答えてくださいました。再質問をしようと練習をしていたのですが、思ったようにはいかず少し悔しさがありました。私はこの子ども議会でも学んだ「楽しむことの大切さ」を忘れず、今後もこのような機会があれば積極的に取り組んでいきたいです。

議員

村山 藍



私は、子ども議会

に参加して学んだことがあります。それは、自分の意見を持ち、それを相手に伝えるということ。私は普段、相手に自分の気持ちを伝えることがあまり得意ではありませんでした。でも、子ども議会を機に、自分の意見を伝えようと思ひました。

本番当日、議員さんや町長さんがいて、とても緊張しましたが、ですが、自分の意見を聞いてもらえると思うと、ワクワクしている気持ちもありました。発表も大きな声ではきはきということができました。私は、この経験を日常生活で生かし、これからみやき町について考えていきたいと思ひました。

北茂安中学校

議長

江越 日菜多



「子ども議会に出て
みない？」そう先生
に言われ、私はやっ
てみたいと思いまし
た。私はみんなとみ
やき町をもっとより
よい町にするため、
町の安全や町のPR
などいろいろな案を
出しました。

大事な議長を任せ
られたからには、最後
までしっかりとやり遂
げようと思いました。
リハーサルでは、会
場はとても本格的で
他校の案もすごくい
い案でいいなと思っ
ました。そして本番

の日、会場に入場す
る際、名前を呼ばれ
入った瞬間「よしっ」
とやる気がわいてき
ました。無事に全て
を終え閉会したとき
は正直ホッとしまし
た。

この子ども議会を
通して、町のために
できる事がたくさん
あると分かりました。
そして他校の子との
仲も深まったと思っ
ます。今回学んだこ
とを学校でもしっか
り生かしていきたい
と思いました。

議員

梅田 智大



子ども議会を体験
してみても、とても緊

張しました。僕の横
には議会の人が一人
ついてくださり、発
表するときのアドバ
イスなどを教えてく
ださって少し緊張が
とけたのでとてもあ
りがたかったです。

自分は、北茂安中
の中で一番初めに発
表しなければなりま
せんでしたが、とう
とう自分の番が回っ
てきて大人数の中で
前に立ち、落ち着い
て発表することがで
きました。僕は「災害」
のことについて意見
を述べました。自分
の席に座っていると
きと前に立っていると
きの空気は全然違
ってより緊張が増し
ました。大人の議会
は僕たちよりも長い
のですごいなあと思
いました。
今回の経験を普段
の生活やこれから生
かしていきたいです。

議員

三宮 和衣



最初は、町のため
に何かを提案するこ
とはとても難しく、
原稿を考えるのはと
ても大変でした。し
かし、先生のアドバ
イスでとても魅力的
な提案となり、ぜひ
提案したいものとな
りました。

リハーサルの日、
ガラ空きの議事堂で
練習しましたが顔が
赤くなるぐらい緊張
しました。そして本
番は時間がたつのが
早かったです。本番
の日の議事堂はすご
い人数の議員さん方
がいてものすごく緊
張しました。ついに

発表するとき、マイ
クを目にするともう
震えが止まりません
でした。でも発表す
る前にある議員さん
に肩の力を抜いてと
言われ、落ち着いて
発表ができました。
提案した企画も実行
してくれそうで、最後
に写真撮影でみやき
町ポーズをしたこと
も議長席に座ったこ
とも強く印象に残っ
ています。

議員

鷲崎 優成



僕は、子ども議会
が始まる前はとても
緊張していましたが、
始まった時に隣にい
てくださった議員さ

んに助けてもらい、
無事に自分の意見を
述べることができ、
議員さんと一緒に考
えた再質問を2回も
することができまし
た。そして子ども議
会が終わった後、議
会のみなさんに「よ
かったよ」や「あり
がとう」「お疲れ様」
などありがたい言葉
をもらって、やって
よかったという気持
ちになりました。こ
の子ども議会で分
かったことは、僕た
ちは中学生として、
議会の方々は町民と
しての視点で行って
いたということです。
これからも、日常生
活でたくさんアイ
デアを出し、よりよ
い暮らしにできるよ
うにしたいと思いま
す。

三根中学校

議長

倉本 祐希



私は、議長を務めました。初めて議長を務めたのでとても緊張しました。しかし、周りの方々が優しく声を掛けてくださったので、安心してすることができました。みんなに聞こえるように大きな声でゆっくりと話すことができました。末安町長さんなど、みなさんが一つ一つの質問を丁寧に答弁してくださったので、とてもわかりやすかったです。中学生の

目線でみやき町のいろいろな疑問や改善点を話し合う子ども議会は、よりよいみやき町を作るのに大切な議会だと思いました。一年に一度の貴重な子ども議会に参加して良かったなと思いました。これからの中学校生活に生かしていきたいと思えました。参加して良かったと、とても思います。

議員
田中 蘭



私は初めて本物の議会に参加しました。私は子ども議会で「みやき町の特産物のP

Rについて」の質問をしました。学校では、子ども議会に参加しないクラスの人みやき町のために一緒に考えてくれました。なので、みんなにわかりやすい質問ができました。答弁では、末安町長や最所地域協力課長が私たちにわかりやすく答えてくれました。前回は私が提案したようにデザートを作って売ったりして好評だったと聞きました。だから、また特産物を使ったデザートを作って、前よりもっとみやき町を町外の方にもPRしてほしいなと思えました。子ども議会に参加して、みやき町にかかわることができて良かったです。

議員
毎熊 仁



僕は、初めて議事堂で発言してみても、テレビで見た議事堂そのままと感動しました。いざ発言するととなると緊張してうまく話せませんでした。本物の議員の方が横でサポートしてくださったり、町長さんや役場の方が、多くの意見に真剣に答えてくれたのがとても嬉しかったです。みやき町のことを考えて議会で発言するのは一生に一度のことだと思えます。貴

重な経験ができて良かったんです。これから、この経験を生かし、もっと自信を持ってさまざまな場面で堂々と話せるようになりたいです。

議員
足立 大和



僕は、初めて本物の議事堂で自分の意見を発表しました。僕は、「バス利用促進について」というテーマで発表しました。このテーマはある日テレビを見ていたら「高齢者の免許を返納しない理由」という

テーマのニュースがあった었습니다。そこで第1位に「交通手段がなくなる」という理由があがっていました。みやき町には便利な「コミュニティバス」があるのでそれを広めたら高齢者の方も楽になるんじゃないかなと思提案しました。議事堂ではとても緊張したけど、うまく提案ができたので良かったです。この提案が採用され高齢者の方が免許返納後も暮らしやすいまやき町になったら嬉しいです。今後もみやき町の発展にかかわる活動をしていきたいです。

「魅力的な景観づくり」に取り組もう（その2）



麻生 恵（地域おこし協力隊 東京農業大学名誉教授）
（町内山田地区在住）

いよいよ11月から住民や行政、事業者

の代表からなる「みやき町景観計画策定委員会」を組織し、景観法にもとづく景観計画づくりに着手します。並行して景観行政団体になるための手続きを佐賀県の指導をいただきながら進めています。

委員会では、みやき町の景観資源の確認、魅力的な景観づくりに向けた問題点や課題の把握を行った上で、どのような景観づくり（景観まちづくり）を目指すのか、目標像の議論から始めることとなります。これまで策定公表された「第二次みやき町総合計画」（平成29年3月）や「第二次みやき町国土利用計画」（平成29年3月）で謳われた理念や方針を踏まえながら、またこれまでみやき町が進めてきたまちづくりの流れ（健康長寿のまちづくり、子育て支援の

まちづくりなど）を尊重しながら、みやき町の特色や地域の事情に応じた独自の計画を策定することになります。

最大の課題は、①みやき町住民の誰もが愛着や誇りを持つことができ共感できる目標像（景観づくりの理念、物語、基本方針）を設定できるか、②それらを町の活性化や魅力拡大に如何に結びつけるか、③地域の景観づくりに理解を持ち参加協力してくれる人材や組織を如何に養成するか、などと思われま

す。今年度は、景観法に則ったみやき町独自の景観計画の枠組みづくりを行い、皆さんのご意見（パブリックコメント）をいただくとともに、次年度以降、具体的な景観形成重点地区の選定や景観配慮の基準づくり、実際に景観計画を実行推進するための景観条例づくりに取り組むこととなります。

防災情報Ⅱ的確に住民へ伝わるMAGO(まご)ボタン

近年、異常気象による重大災害が発生しています。

「8月28日未明、大雨の激しい音で目が覚めた。雨脚はどんどん強くなるが夜はまだ明けそうになく、不安は募る一方だった」と多くの方の声です。

この時は大雨特別警報が発令されました。県内の大雨特別警報は昨年7月以来2度目です。

県内では、武雄市の市街地、北方町や杵島郡大町町などで広範囲に冠水し、いまなお復旧作業が行われています。一日も早い復興を願うものです。

みやき町では、道路冠水による通行止めや土砂崩落などの被害が発生しています。

みやき町の避難情報は、防災行政無線等で周知・伝達されていますが、家の中ではよく聞こえません。

そこで機器の改良により新たな緊急情報放送の発信も可能となった、MAGO(まご)ボタンの利活用をと考えます。

特に独居高齢者宅などに設置することで、災害時の確かな情報伝達などにも役立つと考えられます。

災害は忘れたころにやってくると言われますが、近年は忘れる暇がないほど次から次に大規模災害が発生しています。

日頃から災害に対し、できる限りの自己防衛をしておくことが必要と考えます。

※MAGO(まご)ボタンとは：
ボタンを押すだけで天気・災害・暮らし情報などを受信することができ、高齢者向けのインターネットにつながった装置

編集委員 田中 俊彦

みやきトピックス

敬老会

9月16日「敬老の日」に、こすもす館で開催されました。令和第1回の記念すべき敬老会となりました。人生の教師として今後共お元気にお過ごし下さい。

| | | | | |
|--------|--------------|--------|----|------|
| 町内最年長者 | | 70歳 | 古希 | 483人 |
| 男 | 102歳 (江見) | 77歳 | 喜寿 | 329人 |
| | | 88歳 | 米寿 | 156人 |
| 女 | 105歳 (白壁) | 90歳 | 卒寿 | 131人 |
| | | 99歳 | 白寿 | 12人 |
| 金婚式 | | 100歳 | — | 11人 |
| 75組 | | 101歳以上 | — | 15人 |



中学生子ども議会

9月30日(月)に開催された「みやき町中学生子ども議会」。

わが町の課題は何なのか、わが町が発展するためには何が必要なのか。9人の生徒議員が素晴らしい質問や提言を行いました。

みやき町の希望であり宝である中学生に、未来の町長、町議会議員、執行部にとの思いを描きました。



東尾そば

東尾蕎麦の会(宮原善昭代表・20名)は、平成28年から耕作放棄地などで「そば」の栽培を始めました。その後、町の補助も受け、今では4万㎡超のそば畑となっています。

また、①生産②加工③流通の6次化も既に実現しています。

町内外の評判も上々で会員一同みやき町の新しい特産品にと張り切っています。ぜひご賞味下さい。お問い合わせ 宮原代表 090(36604)7258まで



みやき町の玄関口 JR中原駅

明治24年(129年前)に鉄道が敷かれ中原駅が設置されました。

多くの国、県、企業等の施設が進出し、村が大きく発展してまいりました。しかし今日、駅構内の老朽化、バリアフリー化の整備がされないままです。

鉄道の利便性の向上や使いやすい駅構内の整備は、町民の福祉増進を図るためにも交通手段の充実には避けて通れない課題です。

プロジェクト班を立ち上げ、みやき町の玄関口中原駅・周辺の基本構想を早急に取り組むべきと考えます。



編集後記

「蝉の声」幼き頃、蝉の声を追い、より長い棒網を持ってニイニイゼミ、ヒグリス、アブラゼミ、ツクツクポーシと時期を追って捕獲していた。あれからうん十年、さて今年は蝉の声を何回聞いたかな。地球環境の変化、人間が招いた環境変化に私達人間が気付く前に蝉は気付いたのでは？



◎広報編集委員会

委員長 松信 彰文
副委員長 田中 俊彦
委員 岡 広明
委員 平野 達矢
委員 中尾 純子
委員 目野さとみ